

# 日刊 動労千葉

79.11.2  
No. 265

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二五八・九（公衆）三三二七二〇七

# 燃料列車5本を止める

## 第二波闘争 第2報

### 権力・当局・動労「本部」の闘争妨害、破壊策動を粉砕し、指名スト・減産闘争を闘い抜く

11・1第二波ストライキは、五本のジェット燃料列車を完全にストップさせ10・21〜22第一波闘争に引きつづき、政府・空港公団・国鉄当局に大きな打撃を与える闘いとして圧倒的に貫徹された。一方、全支部・全組合員による減産闘争は、終日、房総半島をゆるがし、各線区において、かつてない列車への影響と燃料増送を強行せんとする国鉄当局に大打撃を与えた。

燃料増送列車 計五本ストップ 四〇〇〇分とめる。

国電	快速	最高	一七分遅れ
	緩行	二八分	— 運休本数
総武成田線	〃	三四分	(一二本)
我孫子線	〃	二四分	
鹿島線	〃	二一分	
内房線	〃	一四分	一八分
木原線	〃	二七分遅れ	
東金線	〃	一三分	
久留里線	〃	一九分	
外房線	〃	一五分	一八分

### 二二〇〇名の機動隊と助役機 関士で輸送強行を策した当局

二期工事阻止・ジェット燃料増送阻止・備蓄ゼロをめざすわれわれの10・21〜22第一波闘争によって「燃料供給に赤信号―備蓄量三日分」と政府・空港公団は、危機感をむき出しにして、三里塚空港がいかにか欠陥空港であるかを満天下にさらけ出したのである。

従って、三里塚空港の最大のアキレスけんであるジェット燃料貨車輸送のハンドルを握る動労千葉に対し、政府・空港公団・国鉄当局は、「国際空港」のメンツにかけて、再度、助役機関士の投入、権力の導入をもって11・1第二波ストをつぶし、燃料増送を強行しようとしてきたのである。

### 燃料増送に卒先協力す 「本部」 反動集団！

動労「本部」反動集団は、こうした権力・国鉄当局の動きに合い呼応しつつ、むしろその先兵となつてわが動労千葉の第一波闘争につづく、11・1第二波ストに対する公然たる破壊策動に打って出てきたのである。

すなわち1去る一〇月三〇日動労「本部」反動集団は、津田沼支部において暴行事件をデッチ上げて、権力の介入を卒先して要請し、スト破壊のためのピラミキを行ない、介入と闘争破壊を策動し、しかも2ジェット燃料増送用の機関

車の千葉への送り込み、さらには、またもや、助役機関士の千葉への送り込みに対し、国鉄当局に卒先協力し、公然と11・1スト破壊策動を行ってきたのである。

3そして、更に許せない事には、スト突入前夜の10月三十一日に動労「本部」交渉団は、国鉄本社と交渉を行って「燃料増送は当局提案通り大筋了解」なる卒先協力を公然と表明する裏切り、敵対を行なったのである。

われわれは、成田支部を中心としてこうしたありとあらゆる闘争圧殺策動を一つ一つ粉砕し、第一波に引きつづき、第二波闘争を敢然と闘い抜いたのである。

この第二波闘争の成功をもって、ジェット燃料備蓄ゼロ・三里塚二期工事阻止・国鉄三五万人体制攻撃粉砕にむけて、労農連帯の旗高く、さらに団結をかため闘い抜こう。

### 動労千葉指名スト 燃料増送五本も止まる

【千葉・成田】成田空港へのジェット燃料増送は、一日から一日遅れ五時五十分、総に増送される計画がスタートしたが、これに反対する国鉄千葉動力車労働組合（動労千葉）関川幸吉委員長、千原人の指名ストなどで初日は完全実施できず、実質的なスタートはあす一日以降にシフトになるといった。

